

k-Report

## kintoneレコード表示時の帳票初期選択スクリプト

# 設定ガイド

V1.09



## kintoneレコード表示時の帳票初期選択スクリプトとは?





### 帳票初期選択設定が可能な画面

キュウリ

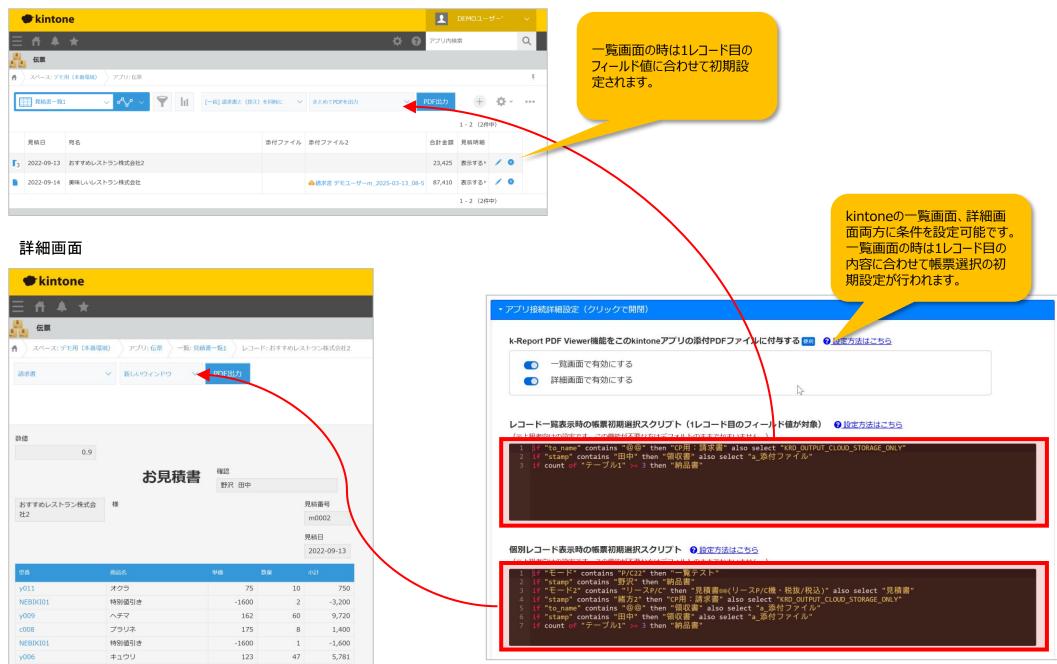
y006

123

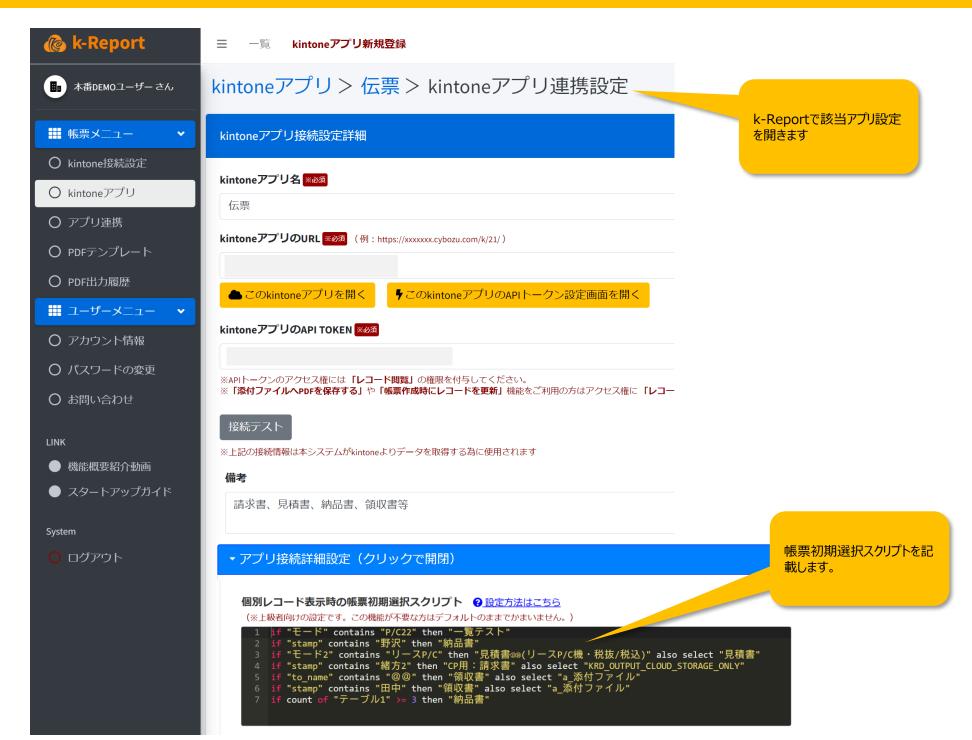
10

1,230

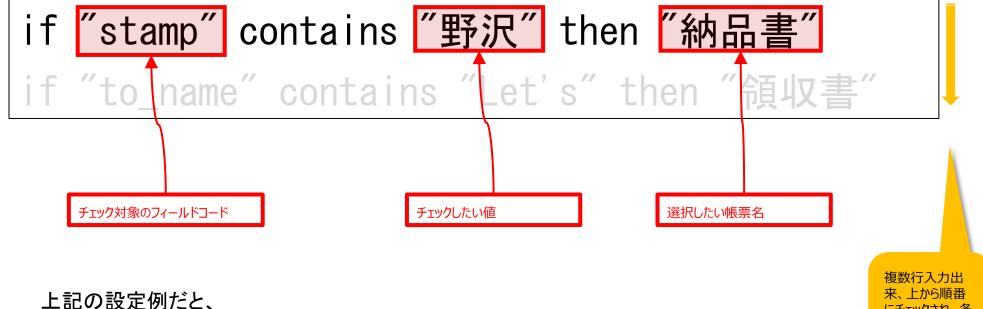
#### 一覧画面







例1:フィールドコードの値で判定する



「もし"stamp"のフィールドに"野沢"が含まれていれば、帳票の"納品書"を選択する」 となります。

上記の値判定である"野沢"の箇所に"\*"(アスタリスク)を指定すると、どのような値が 入っていても"該当"となる設定も可能です。

で確定します。

## 例2:テーブルの行数で判定する



上記の設定例だと、

「もし"テーブル1"のレコード数が3行以上あれば、帳票の"請求書"を選択する」となります。

count of "テーブルフィールドコード"の書式の時には下記の判定式が使用可能です。

- >= 以上
- <= 以下
- > より上
- <未満
- = であれば

複数行入力出 来、上から順番 にチェックされ、条 件にマッチした行 が見つかった時点 で確定します。

複数行入力出来、上から順番に チェックされ、条件にマッチした行が見 つかった時点で確定します。

## 例3:複数の条件を組み合わせて判定する

if "stamp" contains "野沢" and count of "テーブル1" >= 3 and "venue" contains "東京" and count of "テーブル2" = 5 then "請求書" if "to\_name" contains "Let's" then "領収書"

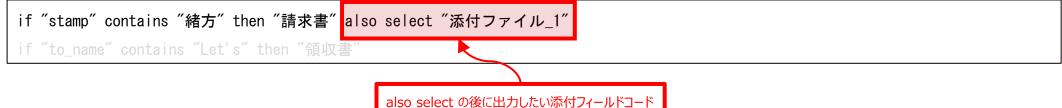
各判定値を「and」で組み合わせていくと複数の条件を指定出来ます。and条件の数に制限はありません。ただし組み合わせ判定式にはorは使用出来ませんので、orと同様の処理をご希望する時には次の行に次の新しい判定式を記述ください。

## 上記の設定例だと、

「もし"stamp"のフィールドに"野沢"が含まれていて、"テーブル1"の行数が3行以上あり、"venue"のフィールドに"東京"が含まれており、"テーブル2"の行数が5行の時に帳票の"請求書"を選択する」となります。

複数行入力出来、上から順番に チェックされ、条件にマッチした行が見 つかった時点で確定します。

## 例4: 帳票の選択と同時に出力先も選択する



を記載する

帳票の選択と同時に出力先となる添付フィールドも自動選択できます。 then "帳票名" also select "選択添付フィールドコード" と記載頂く事で、帳票だけでなく添付フィールドも同時にデフォルト設定が可能です。

※クラウドストレージへの出力をデフォルトにするときには添付ファイルフィールドコード欄に "KRD\_OUTPUT\_CLOUD\_STORAGE\_ONLY" と記述ください。